

# 増福寺年未詳名号板碑

(ぞうふくじ ねんみしょう みょうごういたび)

板橋区登録有形文化財(考古資料) 平成2年3月30日登録

増福寺は慧日山と号する曹洞宗寺院で、寛永8年(1631)に示寂した松月院九世大寰順高が開山となりました。

文化財となっている名号板碑は、江戸時代から広く知られており、十方庵敬順による紀行、『遊歴雑記』弐編(文化12年・1815序)にも、「下赤塚村一町面了弁の名号石」として挿画入りで紹介されています。

それによると「…その石青く石面ざらざらとして至て堅く見ゆ、名号と蓮花座と了弁の名のみ、文字大きく鮮かに、能く摺得て、名より下経文及び年号月日等の文字、幾許かあれども読みとりにくし、摺得かたし…」とあって、敬順自身がこの板碑を実見し、「南無阿弥陀仏」の名号の部分を中心に拓本を取ったことがわかります。また、約200年前の時点ですでに、年月日などが刻まれていた下部が磨耗し、読み取りにくくなっていたこともわかります。

地上高は区内最大の208cmを測り、区内唯一の完形の名号板碑です。



所在地：板橋区赤塚7-14-5

交通：東武東上線「下赤塚駅」

徒歩14分

東京メトロ有楽町線・

副都心線

「地下鉄赤塚駅」

徒歩16分